けいはんなサスティナブルスーパーシティ

～社会課題解決への挑戦が都市の持続力につながる世界トップの安寧な都市経営エコシステム～

けいはんな学研都市

R3.5.17　地方公共団体のスーパーシティ提案についての国家戦略特区WG委員等によるヒアリング
京都府・精華町・木津川市・京田辺市共同提出資料

スマートライフを実現する３つのポイント

○ ビックデータ（健康×生活×医療）の活用による健康寿命の延伸

・公開情報では次世代医療基盤法による匿名加工医療情報作成事業者の参画を得ているのは京都だけ。
これにより、決済機能付ウェアラブルデバイス等による健康データと、購買データ等の生活データに加え
医療データを交えた解析基盤の構築が可能

○ 健康無関心層へのサポートも実現可能な京都の高い技術力

・完全非接触ﾃﾞﾊﾞｲｽの活用（部屋に設置するだけで呼吸や心拍を計測可能なﾃﾞﾊﾞｲｽ、会話の続くAIｽﾋﾟｰｶｰ）
・人流ﾃﾞｰﾀ等をAIで解析し、住民の移動を予測した配車ｼｽﾃﾑで、外出しやすくする健康MaaS

○ 国際ネットワークを活用した技術開発の推進

・学研都市の150以上の研究機関の集積に加え、研究者１万人と海外日本人研究者６千人とをXR技術で
結ぶ国際共同研究ハブの設立（Japan XR the Instituteの設立）
・新型コロナウイルス感染症関連の研究等における国際連携により社会的課題に貢献

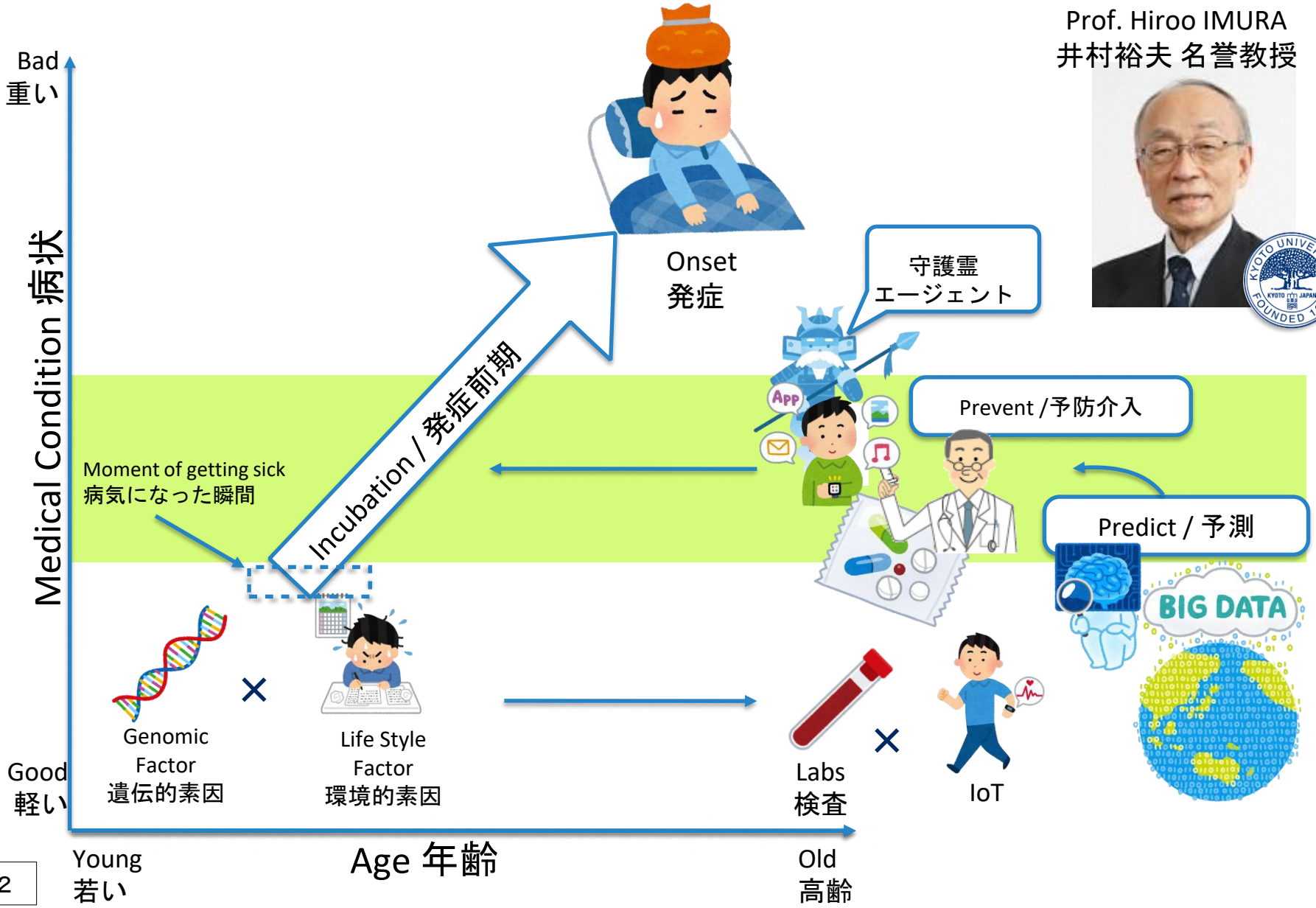
未来につながるグリーンフィールドの活用

・グリーンフィールド３００haを活用したフードテック関連企業の集積等による健康を支える「食」の振興

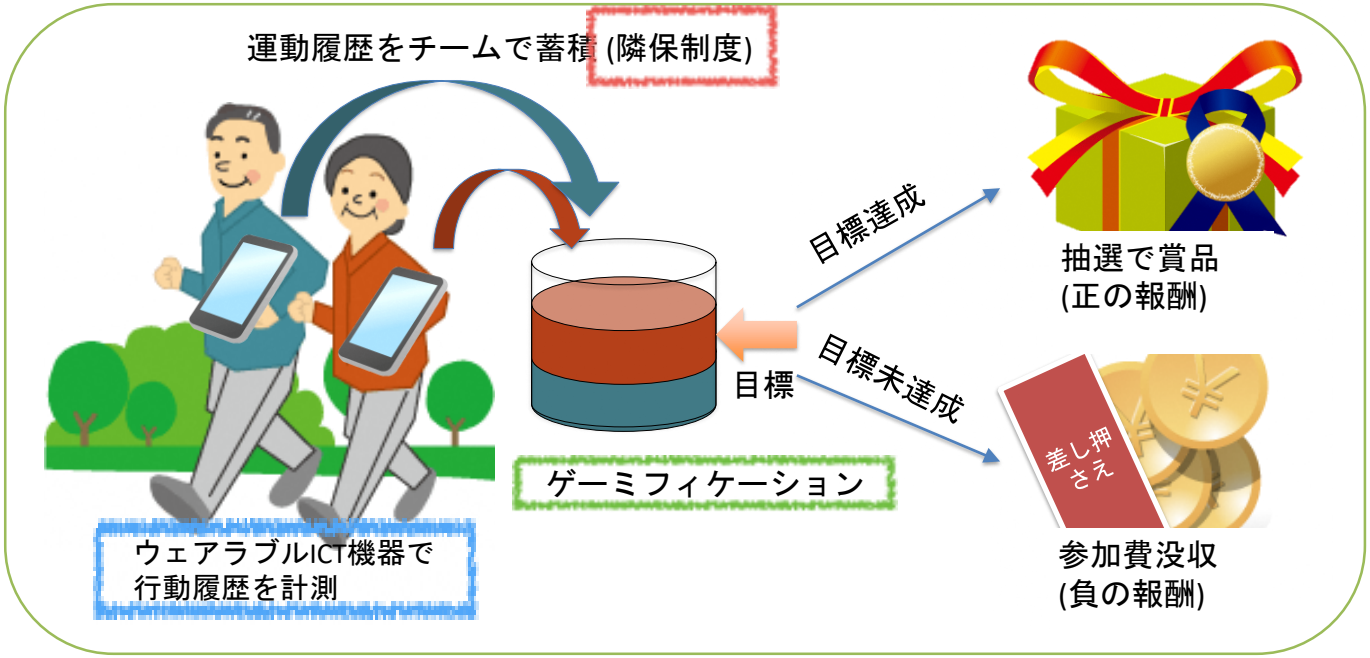
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Beyond Precision Medicine ：Preemptive Medicine
個別化 の 先に あるもの ：先制医療

Prof. Hiroo IMURA
井村裕夫 名誉教授



【実績】みんなで一緒にながはま健康ウォーク



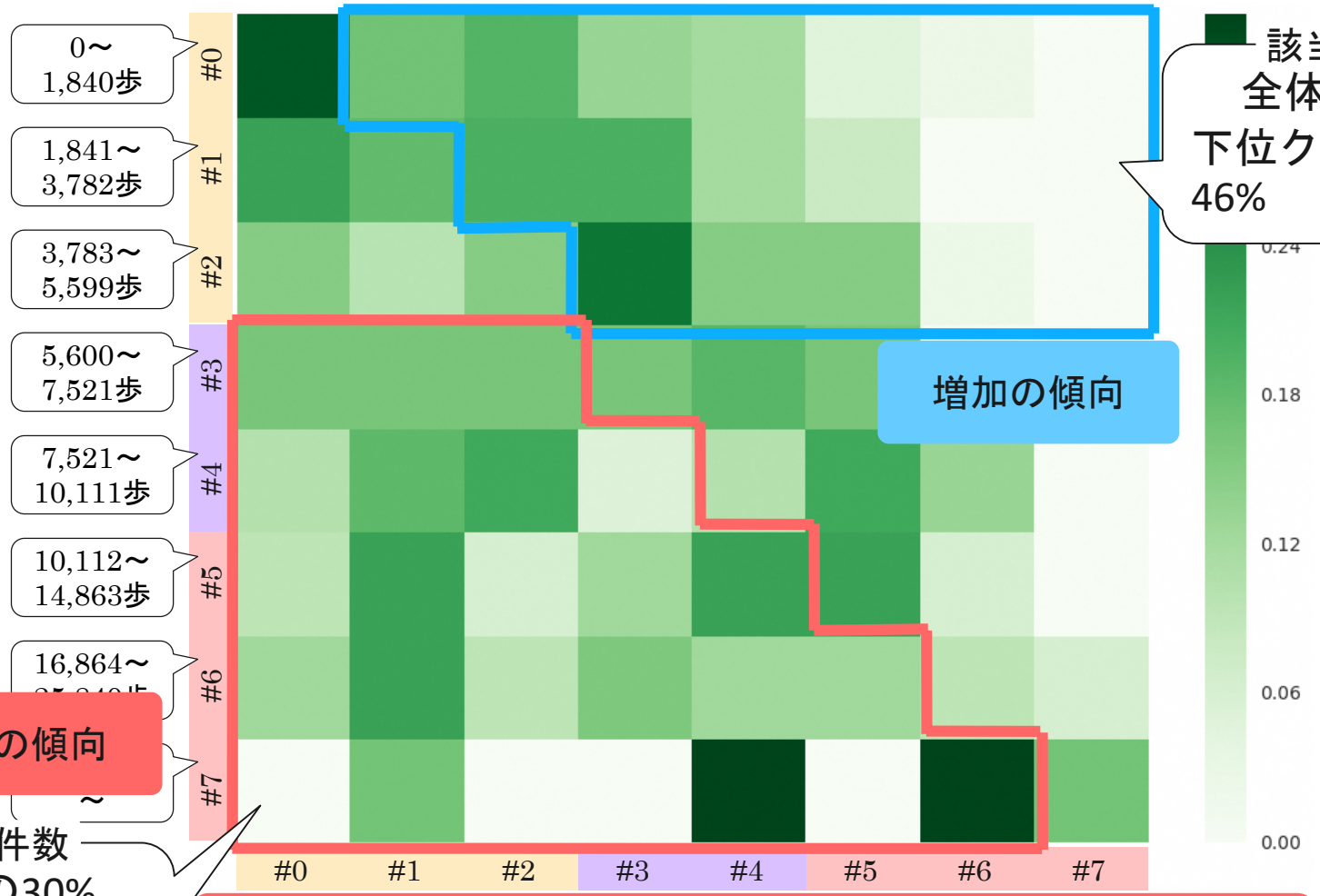
きっかけを演出

- 「イベント」として開催し「きっかけ」を演出
- 正(景品)と負(参加費)の二つのインセンティブ提供
- 「仲間作り」によるインセンティブ強化

平成26年 厚生労働科学研究費
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

運動の生活カルチャー化により
活力ある未来をつくる
アクティブ・フォー・オール拠点
Bright Future for All Ages with Health Innovation by Daily Exercise

【実績】☂→☂ 2日間とも雨の場合の解析



該当件数
全体の35%
下位クラスタの46%

増加の傾向

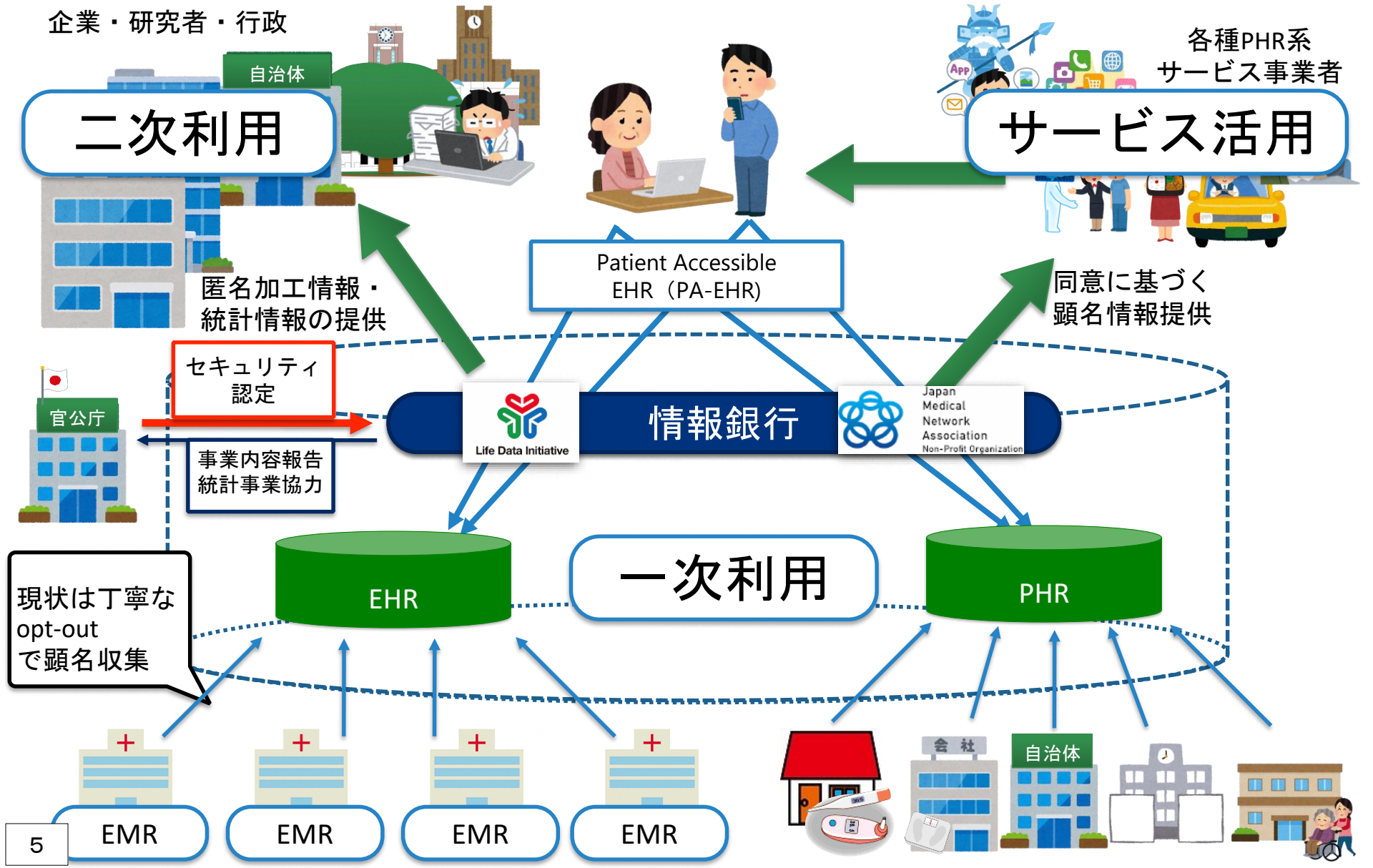
減少の傾向

該当件数
全体の30%
中間・上位クラスタの65%

全体の分布
増加:44%
維持:19%
減少:36%

下位クラスタでは**増加**・**維持**の傾向が強い。
中間・上位クラスタでは**減少**の傾向が強い。

次世代医療基盤法を活用した健康・医療情報解析基盤の全体像



次世代基盤の「壁」を無くす（３つの不具合の解消）

現在の
次世代医療基盤法

法30～34条の定めで
病院毎に手続きが必要なので…

みんな面倒
みんな協力しない

京都府の
スーパーシティでは

地域全体の医療情報取扱事業者の手続きに係る
負担を緩和するとともに、特定の団体が一括実施できれば

みんな簡単
みんな協力